

国内深化・海外拡大 新たな成長へ

首都圏で電力小売り

愛知県の素材、エネルギー、建設各社は主力事業を深化させるだけでなく、新規事業参入や海外投資を拡大。新たな成長を模索する。

中部電力は浜岡原子力発電所(静岡県御前崎市)が停止状況の中、引き続き、電力の安定供給に力を入れる。同社では浜岡原発の安全性向上の取り組みを進める一方で、現在は原発なしでの事業運営を迫られている。

同社は浜岡原発停止を受け、7月に上越火力発電所「2-1号機」の運転を始めるなど、液化天然ガス(LNG)火力の稼働を増加させている。ただ燃料費調整制度では浜岡原発停止で増加した燃料費を電力料金に反映

できないうえ、円安進行で燃料費負担が経営に重くのしかかる。

同社の2013年4-9月期連結決算は、経常損益が270億円の赤字となった。14年3月期も経常損益が1000億円の赤字を見込むなど厳しい状況が続く。

こうした状況を受け、同社は10月29日に、家庭用など規制部門の電力料金引き上げを経済産業大臣に申請。申請が不要な自由化部門とともに14年4月1日の実施を目指す。値上げ率は規制料金が平均4・95%、自由化料金が同8・44%。同月、開いた会見で水野明久社長は「来年4月の消費増税と合わせて2重の電力を販売する。電力

負担になるが、理解いただきたい。今後も引き続き、経営効率化に最大限の努力する」と語り、値上げへの理解を求めた。

一方で同社は販売市場を広げて収益基盤の多様化を図る動きも進めている。10月に三菱商事の完全子会社で電力小売り事業者のダイマوندパワー(東京都中央区)を買収し、子会社化した。ここで、価格競争力の高い電気を首都圏などに販売し、将来の収益源とする考えだ。

新興市場に製品投入



日本特殊陶業が中国市場に投入した新型プラグ

一方、素材や建設の各社は海外需要を取り込む動きも活発化している。アイカ工業は12年12月に株式を取得したアイカ・アジア・パシフィック・ホールディングの業績が寄与し、13年4-9月期連結決算で売上高が前年同期比30%増の663億円と大きく伸長した。「アジア太平洋地域」で接着剤と産業用樹脂の需要を取り込むことができた。(小野勇治社長)

同社では海外での設備投資に今後も力を注ぐ。14年4月頃の

稼働を目指し、タイでは自動車用樹脂の製造設備を、インドネシアではメキシコ化成板関連の設備を導入する。「アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング」と資材関連の共同購買を推進する(同)と調連でもグローバル化を推進する。

ノリタケカンパニーリミテドは16年3月期に海外売上高比率を40%(13年3月期比5%増)に引き上げる。主力の工業機械事業では中国やタイなどアジアで生産能力を増強。現地向け需要を開拓する。10月末に

中部電力が7月に運転開始した上越火力発電所「2-1号」発電機



提案

エネファーム「創エネ」貢献

他のエネルギー関連企業では東邦ガスが家庭用燃料電池「エネファーム」の販売に傾注している。顧客の環境貢献意識の高まりや新築住宅着工数の伸びを背景に、販売台数が大きく伸長。8月末時点の成約台数が約1800台となった。13年度末に設定していた累計販売台数4000台の目標も約半年間倒しして9月5日に達成した。好調を受け同社では13年度販売計画を東日本大震災以降は自宅エネルギーを自給自足するという消費者の「創エネ」意識も高まり、販売が急増した。新築住宅ではエネファームと太陽光発電を組み合わせた「ダブル発電」も増加。13年度はエネファームを採用した新築住宅の約7割がダブル発電となった。東邦ガスでは今後も環境貢献と経済性の両面のPRでエネファームを積極的に売り込む。

▲シヨールムでエネファームを積極的に

は江蘇省蘇州市に約12億円を投じ建設していた研削砥石工場が完成した。

同社はまた、部門赤字の続く祖業の食器事業でも、海外市場での売り上げ拡大を図る。年末からは、従来国内だけで販売していた日用洋食器「シェールラン」シリーズを欧州市場などに投入する。

日本ガイシは、同社が世界で唯一量産するナトリウム硫黄(NAS)電池について、14年3月までアラブ首長国連邦のアブダビ水力電力向けの納入を始める。同社は11年にNAS電池で火災事故を起こして以来、新規出荷を停止。アブダビ向けの出荷は事故後初めての新規納入となり、NAS電池事業の本格再開に期待が高まりそうだ。

あらゆる産業を支える高機能表面処理のプロフェッショナル。

<http://www.sannouriken.co.jp>



Ni-P・PTFE共析めっき
硬質クロムめっき

山旺理研株式会社

本社・工場 〒452-0812名古屋市中区玉池町5番地
TEL.052-502-1151 (代表) FAX.052-502-4306
現場事務所 名古屋市中区玉池町16番地
TEL.052-502-1153・1154 FAX.052-502-1193

SKILLS

モノを大切にする
技術、ノウハウがここに
自然環境との調和を考え
私達は最新の技術でリニューアル、
維持補修を提案していきます。

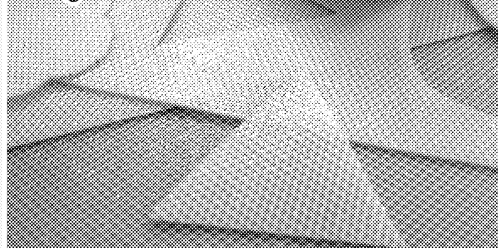


たくみの技と誠の心で

名工建設株式会社

〒450-6113 名古屋市中村区名駅1-1-4 JRセントラルタワーズ34階
TEL052(589)1501 (代) FAX052(586)1926
<http://www.meikokensetsu.co.jp/>

**粘着性物質の
くっつきを防止**



立体構造ファブリック×シリコンゴム
食品衛生法：使用条件100℃を超える
材料の抽出試験に合格 **特許出願中**

**手軽で貼りやすい
粘着剤付きシート**

GTTファブリックシートの特長

- シリコンコーティングを上回る非粘着(離型)性
- 高温でも衰えにくい非粘着(離型)性
- すぐれた耐熱性・耐久性
- 安定した摩擦性能
- カット加工しやすいシート材
- シール感覚で貼れる粘着シート



主な用途 粘着テープ製造ライン/コールドグルー・ホットメルト・各種接着剤、使用ライン未加硫ゴム・生ゴム搬送ライン/ラベル・シール類等、製造メーカー・包装ライン食品類、搬送加工 焼成ライン

各種表面処理および樹脂製品・ペリト
株式会社 **吉田SKT**
本 社 / 名古屋市中区花の木一丁目12番20号 TEL(052)524-5211 FAX(052)524-5287
事業所 / 東京・名古屋・山口 営業所 / 横浜・大阪・福岡・広島 各地事業所・営業所にて迅速に対応させていただきます
<http://www.y-skt.co.jp>

あたらしい空気を創ろう

GPが生み出す次代のエコロジーエアは、『水』を基にしています。
これから先の地球のために、そしてもちろん人のために・・・。

“GP SERIES”は、未来のための環境性能を装備した、
水潤滑式スクリュコンプレッサです。

大気水分利用システム
水潤滑式コンプレッサ
GP SERIES 11/13/22/37/55/75



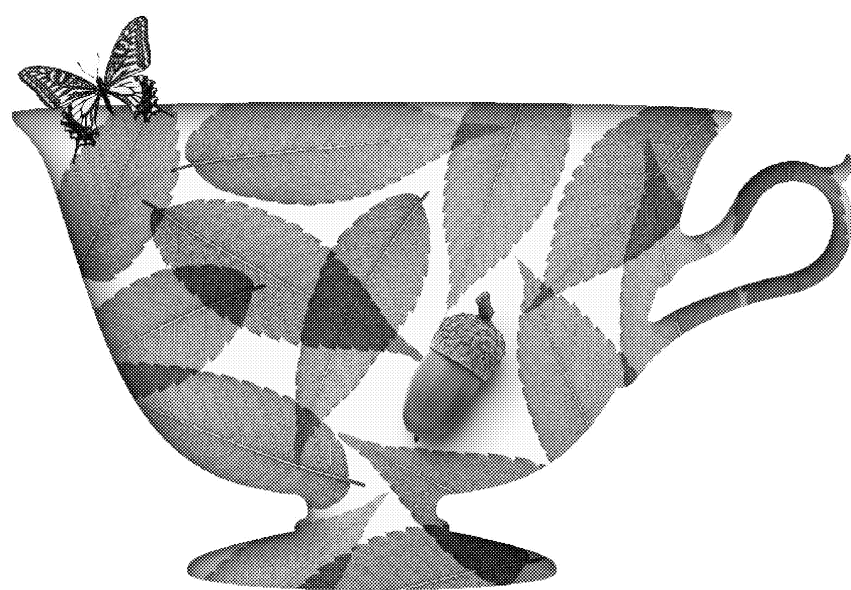
技術と信頼で未来を拓く

DAIWA 大和機工株式会社
代表取締役社長 坂井 修

本社工場 〒474-0071 愛知県大府市梶田町1丁目171番地
産業機械部 / TEL0562-47-2168 FAX0562-46-8966

<http://www.daiwakiko.co.jp>

人と地球に、
ノリタケ コアテクノロジー



食器づくりで育んだ技術は、地球環境を守るための技術として活かされています。
100年以上かけて精度を高めた、削る、混ぜる、印刷する、焼く、という
ノリタケのコアテクノロジーは、太陽光発電、リチウムイオン電池といった
新エネルギー分野で、いまや欠かせない存在です。

Noritake

株式会社ノリタケカンパニーリミテド 〒451-8501 名古屋市中区則武新町三丁目1番36号 <http://www.noritake.co.jp>

セミコンジャパン2013(12/4~6 幕張メッセ)4A-307に出展します。